

森づくり サポーターニュース

びわこ地球市民の森(森づくりセンター) 〒524-0102 滋賀県守山市水保町2727
TEL:077-585-6333 FAX:077-585-6312
biwako@moridukuri.info https://www.moridukuri.info

ふれあいゾーンにおける森づくりの特長について (3)

ふれあいゾーンの森づくりのテーマは『水辺の環境学習フィールド』です。水辺生態系の観察や学習の場として「ふれあい池」と「八つ橋」を造りました。池はすぐに水漏れし、そのまま現在に至っています。ポンプアップした地下水を「井戸」横から水路で池に流し入っていますが、「手押しポンプ」はパッキンが腐食してモニュメント化しています。当初計画では池のすぐ前が森づくりセンターでしたので、水を流し入れた池の管理もやりやすかったと思います。結局センターだけ里の森ゾーンの現在地に変更したため、ポンプは時々水を入れる程度で済ませています。また中央の水路には、「中洲」、「タマリ」、「ワンド」等の自然観察の場所を造っています。カモ等の水鳥も飛来し、格好のバードウォッチング場所でしたが、浚渫工事で1m下げられ、おまけにオオバナミズキンバイの異常繁殖に見舞われて、現在その駆除の途中であり親水空間はもう大変です。

このゾーンの面積は6.7haで、植樹を開始して5年後の平成17年に、「つどいのゾーン」に続いて開設されました。樹齢は主に今年21年、22年の木々です。見晴らしの良い陸橋を渡り「ふれあいゾーン」に入ると、右も左もさすがに大きく生長しています。園路は400m程緩やかな下り坂で、左側は常緑樹林、右側は落葉樹林になっています。水路の県道側は、南の上流側から混交樹林、駐車場、芝生広場、野草広場になっており、は虫類の棲みかとして石山を2か所造っています。

帯状の常緑樹林はブナ科の木々やヤマモモが目立ちます。外側にほとんど住宅がなく、繁らせるには最適です。担当サポーターに森の小路も造っていただきましたが、今後は樹林密度の濃淡も考えながら間伐を進め、快適な区域や自然度の高い区域を造っていきたいと思います。クヌギやコナラが目立つ混交樹林は、県道脇の樹林と引っ付いて重層的になってきました。落葉樹林帯の中を通る園路は、歩いていて気持ちの良いプロムナードになっています。多少起伏がある芝生広場の平野部も含めて、環境学習フィールドとして来園される皆様に利用していただきたいと思います。



気持ち良い
プロムナード

プロムナード
の紅葉



ふれあいゾーンの平面図



2023/ びわこ地球市民の森のつどい

テーマ「地球環境を考え、森に感謝し、森を楽しもう」

開催

令和5年10月29日(日)、爽やかな秋晴れのもと、森で最大のイベントである「びわこ地球市民の森のつどい」が開催されました。

当日は、「地球環境を考え、森に感謝し、森を楽しもう!」をメインテーマに、里の森ゾーンの芝生広場の会場を中心に森の中を広く使い、自然をいっぱい満喫してもらえつどいにしました。

開会式では、斎藤実行委員長の開会宣言のあと、主催者として大杉滋賀県副知事、森中守山市長、来賓として国会議員、滋賀県議会議員、守山市議会議員を代表して、武村衆議院議員の挨拶がありました。

今回は森の生みの親である國松元滋賀県知事から森の誕生についてお話があり、「森(もり)は今育成途上の林(はやし)である。名実ともに素晴らしい森(もり)となるようみんなで力を合わせて育てよう」と力強く訴えられました。



開会式の様子



大杉滋賀県副知事挨拶



森中守山市長挨拶



國松元滋賀県知事「森誕生」のお話

このあと、平塚森づくりセンター所長より森の紹介とつどいのプログラムについて説明があったあと、守山市緑の少年団、ガールスカウト滋賀県第15団、ボーイスカウト守山第1団の皆さんによる「森づくり宣言」が元気よく宣言され、「自然とふれあいウォーク」がスタートしました。

ウォークでは南コースと北コースに分かれ、ポイントごとにクイズを楽しむ自然観察カードを手に、間伐材でできた森の妖精やクマさんなどの可愛いキャラクターを探したり、秋の森の自然を肌で感じながら散策しました。ウォークを終えた皆さんは受付で木製クラフトキットの賞品をゲットし疲れが癒された感じでした。



森づくり宣言



旗手を先頭にウォーク出発



ウォークをしながら自然を満喫



みんなで楽しいふれあいウォーク



ウォークの途中で自然教室



足を止めて秋の自然観察

「体験ブース」では、森づくりサポーターの皆さんを中心にこれまで最高の36団体が参加して、様々な工夫を凝らして考え出されたアイデア一杯のゲームやものづくりの成果が披露され、訪れた参加者は素晴らしい体験に夢中になっていました。



森の間伐体験



丸太切り体験



間伐材でモリック体験



サポーターの先生も一生懸命!



どの体験コーナーも人気抜群



バンドをつけてハイ完成!



輪投げで木製キットをゲット!



竹笛、いい音出るかな?



木製クラフト楽しいな!

また「食」のブースでは、キッチンカーなど味自慢のお店が約30ブース出店し、長蛇の列ができるほどの人気でした。

本部前の芝生広場では、ひなぎくこども園、速野カナリアこども園の演技、桐生オッカリーナーズのオカリナやこだまの太鼓、ザ・キープウォーターの演奏などのアトラクションで「森のつどい」に一層花を添えました。



キッチンカーは人だかり



園児たちの可愛い演技



美しい音色のオカリナ演奏



迫力満点の太鼓の演奏

また、つどいに併せて行われた第3回の森づくりサポーター活動では、223名のサポーターの皆さんが参加され、自然とふれあいウォークや体験ブースでの活動などつどいをさらに盛り上げました。

当日は、天候にも恵まれて約4,000人の来場者が訪れ、事故なく無事に終えることができました。ご協賛、ご協力いただきました企業、団体、地域、関係機関、関係者の皆様、ありがとうございました。

来年度の「森のつどい」も今年度以上に盛大に催しできるように企画していきますので、今後とも森づくりの推進に、より一層のご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

「森づくりサポーター」 新しい活動団体の紹介



毎月活動のグループが、2団体増えて23団体となりました。

令和5年10月より、レイカディア大学草津校43期園芸学科卒業の「43森の恋人たち♡」と「あかこん会」の皆さんが、森づくり活動、公園管理のサポートなどに参加されています。

先の「びわこ地球市民の森のつどい」では、主に受付や案内を担当してくださいました。これから本格的に、間伐や枝打ち、世代をこえての交流や公園管理運営のサポートなどお願いいたします。

無理なく、楽しみながら、末永く参加してください。また、気づいたことや提案など気軽にお知らせください。よろしくお願いいたします。

43 森の恋人たち♡

あかこん会



間伐材の整理



担当地の確認



道具の片づけ



活動の打合せ

お知らせ

第4回「森づくりサポーター活動」のご案内

早春の森が、みなさんのお越しをお待ちしています。

開催期日 令和6年2月29日(木) 育樹活動(つどいのゾーン)
3月 2日(土) 自然教室(里の森ゾーン)

第3回「森守こどもサポーター活動」のご案内

8月に結成しました森守こどもサポーターの3回目の活動です。
多くのこども達の参加をお待ちしています。

開催期日 令和6年2月11日(日) 森づくり活動(里の森ゾーン)

森のデータ

森の面積	42.5ha
森の延長	3.2km
森の幅	100~200m
植樹面積	80,808㎡
植樹期間	H13~H25
植樹活動参加者数	45,994人
植樹本数	160,967本
森への利用者数(R4)	260,224人
森づくり活動参加者数(R4)	12,556人
うち育樹活動参加者数(R4)	3,474人



年間で最も大きな行事であります「びわこ地球市民の森のつどい」が、秋晴れの空のもと盛大に行われました。その中でも来場者の皆さんに人気の体験ブースでは、多くの子供たちが様々なゲームやものづくりなどに夢中でした。とりわけサポーターの皆さんが森の中の資源を活かし、工夫とアイデアを駆使して考えられた体験は一つ一つ素晴らしいものがありました。これからも体験コーナーで、ワクワクするものが披露されることを楽しみにしています。